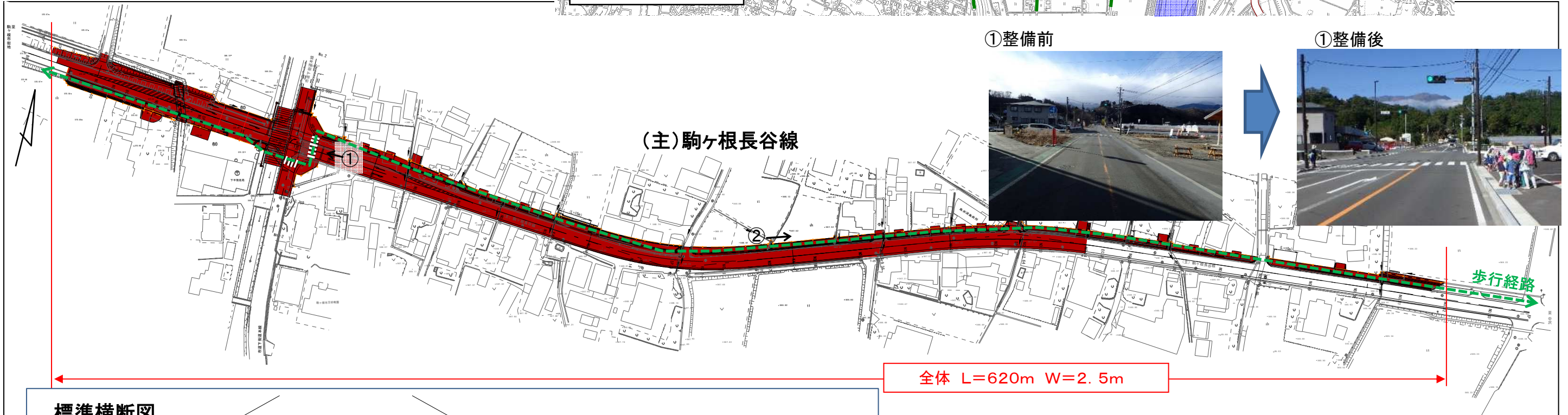
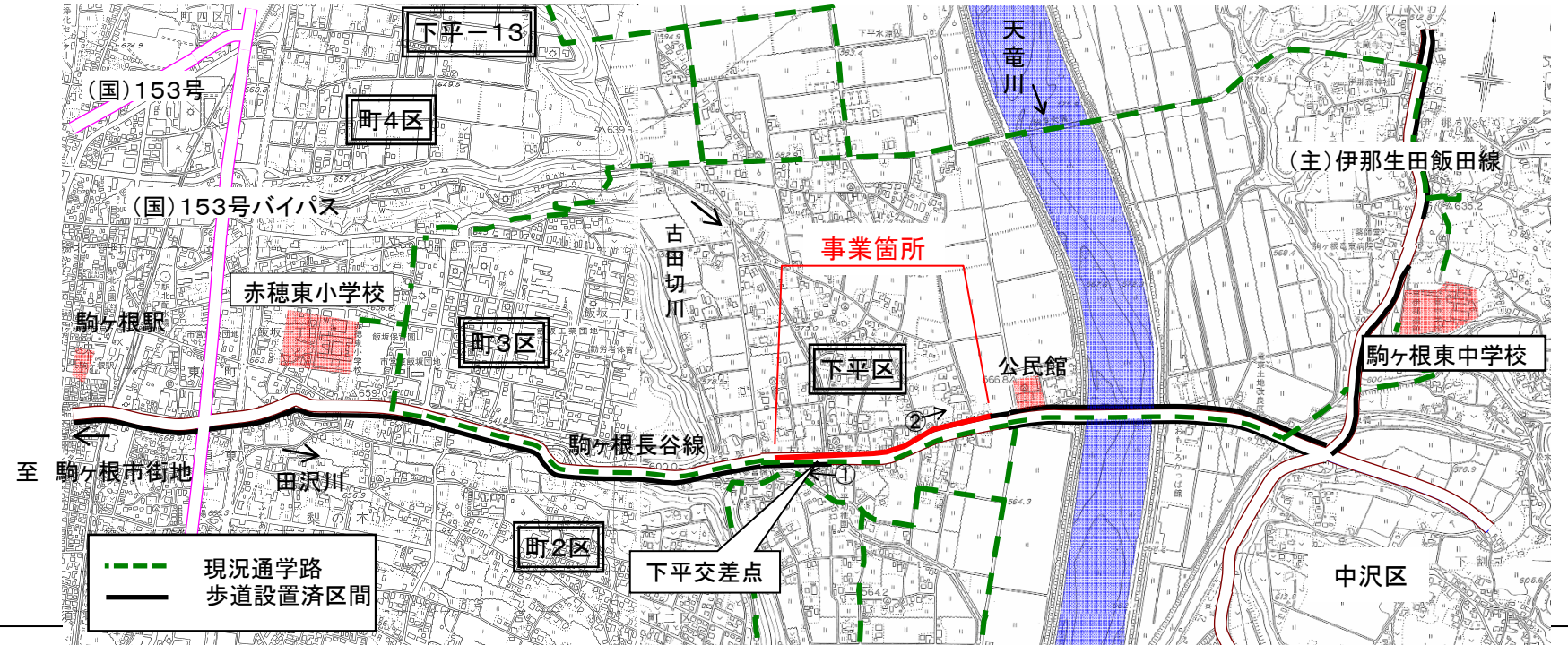


(様式3-2)事後評価シート

番号	8		事業名	交通安全施設等整備		市町村名	駒ヶ根市		路河川名	(主)駒ヶ根長谷線	箇所名(ふりがな)	下平(しもだいら)																	
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	<p>・当該路線は、市街地と中沢区を東西に結ぶ主要な幹線道路で、物流を支えるとともに生活道路として利用されていた。 ・事業計画時、駒ヶ根市では中学校の規模格差を緩和するため、「第3次総合計画後期基本計画(H21.6)」に「新中学校建設による教育環境改善」が位置付けられ、建設までの間の通学区一部変更(H21より随時)を実施し、市道の環境整備を進めていた。また、県道に対しても道路改良促進委員会(H21.3)が組織され要望活動が実施されていた。 ・当該路線は、一部縦断勾配が8.5%ときつく車道幅員及び、既設歩道幅員(W=1.0m)が狭いうえに歩道未整備区間もあり、自転車通学が可能となった中学生など道路利用者が増加する中で、通行車両と自転車の接触事故防止及び、歩行者の安全確保ため平成23年度から交付金事業として用地買収を開始、平成25年度には工事に着手した。 ・当初起点側の橋梁拡幅については、本事業区間外であったが地元からの強い要望もあり施工区間20m事業区間を3年延長し、平成30年度予算を繰越し、令和元年度に完成、供用を開始した。</p>													②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)	評価	A												
	事業目的	<p>・駒ヶ根市の「新中学校建設による教育環境改善」計画による当該路線の自転車通学の学生増加が見込まれる中で、安全な通学路と円滑な交通を確保するため事業を実施した。</p>													③施設の維持管理状況	施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)	評価	A											
事業概要	当初工期	H23~H27	費用対効果(当初時)	—	事業費(千円)	財源内訳(千円)				④地域住民等の評価	地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)	評価	A																
	最終工期	H23~H30	費用対効果(評価時)	—	上段:当初/下段:最終()は国補事業分以内	国庫	その他	県債	一般財源																				
	当初計画内容(主な工種)	歩道整備 L=600m W=2.5m				500,000	275,000		202,000					23,000															
	最終事業実績(主な工種)	歩道整備 L=620m W=2.5m				735,435	404,489		297,000					33,946															
事業期間の延長、短縮理由と分析	<p>・当初起点側の橋梁拡幅については、添架物件の移設、施工期間中の交通規制・仮設道路の建設に伴う借地提供が困難だったことから、事業区間外であった。 ・当初計画のまま事業完了後しても、対象橋梁が狭窄部となり歩行者の安全が確保できないことから、地元からの強い橋梁部の改良要望とともに地区内で用地提供について調整があったことから、再度関係機関と調整し、本業務の事業区間に追加した。 ・橋梁部分の詳細設計、施工中の仮設道路検討及びその借地交渉等のため事業期間を3年延長した。</p>													改善措置の必要性	○現在のところ改善措置の必要性はない。														
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析	<p>・追加した橋梁部分の施工、及び補償、借地等による増額。</p>																												
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成)											評価	A																
	直接的効果(定量的・定性的)	<p>【歩行者数】H17:16人→H27:42人 平成17年の道路交通センサスと比較して平成27年交通センサスでは、歩行者数が増加 【自動車交通量】H17:3,358台→H27:4,902台 平成17年の道路交通センサスと比較して平成27年交通センサスでは、交通量が増加 【事故件数】H19~H20年度:2件→R元~R3:0件 歩行者数及び交通量が増加したが、交通事故は発生していない 【交通量】道路交通センサス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>自動車</th> <th>うち大型車</th> <th>歩行者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>3,358</td> <td>276</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>4,902</td> <td>250</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>H27/H17</td> <td>146%</td> <td>91%</td> <td>262%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○通学路の安全性の向上(駒ヶ根市東中学校、赤穂東小学校) ○歩行者と車両通行の分離が整うことにより、道路自体の安全性が向上し、交通量が増加、地域交通網の強化に繋がっている。</p>													自動車	うち大型車	歩行者	H17	3,358	276	16	H27	4,902	250	42	H27/H17	146%	91%	262%
	自動車	うち大型車	歩行者																										
H17	3,358	276	16																										
H27	4,902	250	42																										
H27/H17	146%	91%	262%																										
間接的効果(定量的・定性的) ※事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況	<p>建設部公共事業評価委員会の意見</p> <p>歩道整備により、小中学生等歩行者の安全が確保され、また、公民館等へも安全に行くことができるようになった。歩行者と自動車の交通量がいずれも増加したが、交通事故は発生しておらず、地域住民の評価も高いことから、事業の目標を達成しており、総合評価Aが妥当と判断する。</p> <p>長野県公共事業評価委員会の意見</p> <p>建設部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。</p>											総合評価	A	県の評価案	妥当	評価監視委員会意見	妥当	評価の決定	A										

番号	8	事業名	交通安全施設等整備	市町村名	駒ヶ根市	路河川名	(主)駒ヶ根長谷線	箇所名(ふりがな)	下平(しもだいら)
----	---	-----	-----------	------	------	------	-----------	-----------	-----------

位置図



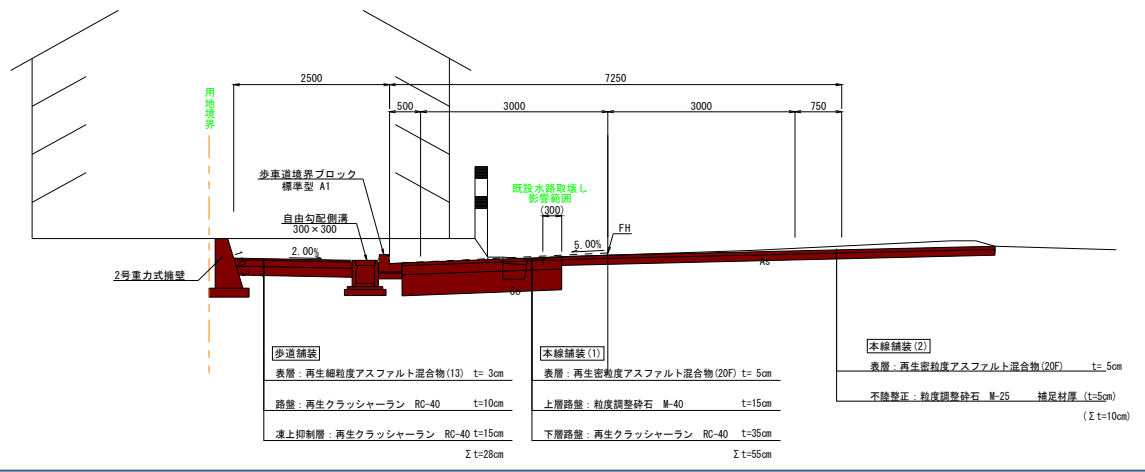
①整備前



①整備後



標準横断面



②整備前



②整備後

